

# 令和5年第4回定例会で意見が分かれた議案の採決

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
議案番号	議決結果																	
議案第42号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 賛否討論

採決が分かれた議案のうち、主な意見を紹介します。

がないのではなく、使えるところはある。市の発展のためには、廃止するところは廃止し、経費が削減されるような方向で頑張らなければならない。厳しいけども賛成せざるを得ない。

【議案第43号】南島原市農産物処理加工施設案例を廃止する条例について

【賛成討論】行政改革は今回の問題だけじゃない。給食センターを建てていながら、財産である備品がこれ、私たちに相談もなくただでやると。こういうのに議会が無頓着でありながら、北有馬の建物だけを残すというのは賛成しかねる。

【賛成討論】財政課から説明があったように、維持管理をそのまましていたら、令和9年にはもう予算は組まなければならない。建物

## 総務委員会視察研修報告書

令和5年11月7日(火)～11月9日(木)

### 11月8日(水) 宮城県南三陸町 「震災後の復旧状況(取組)と防災減災について」

3つの目標をきっかけ、復興に取り組んだ。①安心して暮らし続けられるまちづくり②自然と共存しと賑わいのまちづくり。 「なりわいの場所は様々であっても、住まいは高台に」を基本とし、6、15mかさ上げし、高台移転の実施をした。相続放棄地に時間を要した。



「南三陸311メモリアル」(R4年10月オープン)

災害の発生を完全に防ぐことは不可能な観点から、災害発生を未然に防ぐ「防災」の考え方を、被害を最小化する「減災」の考え方に替え、ソフト面で防災訓練・防災教育対策を行っている。復興のハード事業はほぼ終わったので、今後、自然と共存するまちづくりを目指す。

【11月8日(水) 岩手県釜石市 「震災後の復旧状況と取組について」】 住民合意形成による復興まちづくりの推進を



釜石市の研修

【所感】災害はいつどこで起きるかかわからない。本市においても事前復興を教訓に、減災対策に取り組む必要がある。

## 農林水産・建設委員会視察研修報告書

令和5年11月7日(火)～11月9日(木)

### 11月7日(火) 秋田県大潟村 ●農業生産及び所得水準の高く農業経営

農業が基盤産業で、農家1戸当りの耕作面積は平均18ha、水稲を基幹作物とし、転作作物として、麦・大豆・メロン・南瓜・たまねぎ等を栽培。水稲の比重が多い大潟村は、米の出来がそのまま算出額に影響する。(R3 1戸当り所得1,500万円)

●国土交通省との意見交換会 ●高規格道路に求められる役割 ●経済成長・物流強化の高度化複合化 ●観光立国の推進 ●低炭素で持続可能な道路の実現等

【現状】 地理的に沿岸部のみ平地であり、土地利用が制限された地域である。 【産業】 全体的に伸び悩みの傾向にあり、「農業」「観光」は長崎県全体に占めるシェアが比較的大きい。 【農業】 全国上位の出荷量を誇る長崎県産の農産物の多くは、島原半島全域で生産し大都市へ出荷されている。



小嶋委員長 あいさつ

★今回の視察研修を終えて、本市における農業経営、国土交通省職員による意見交換会で、改めて本市における様々な課題等を再認識した研修となった。

## 文教厚生委員会視察研修報告書

令和5年11月7日(火)～11月9日(木)

### 11月7日(火) 岡山県奈義町 「子育て支援の施策にCSM」

「人口減少・少子高齢化」を課題として捉え、定住促進のための対策として、子育て支援施策、住宅施策、魅力ある教育、就労の場の確保に力を入れ、現在の人口を維持することを目標に掲げている。平成24年に、「子育て応援宣言」を発表。経済的支援とメンタル支援の両方をサポートする。令和元年に、合計特殊出生率2.95(※)を達成し、「奇跡のまち」と呼ばれ、全国から注目されている。

### 11月8日(水) 香川県高松市 「屋島山上交流拠点施設(やしまーる)の取組CSM」

高松市が平成25年に策定した屋島活性化基本構想に基づき、令和2年に着工、令和4年8月にオープン。総事業費は約16億4千万円。建物は、屋島の地形の起伏に合わせて、蛇行曲線で緩やかに湾曲した独創的なデザインで、周囲の景観に溶け込んでいる。公共施設で



「やしまーる」の研修

【合計特殊出生率】 15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの

【今後の事業展開について】 環境・消費者ニーズに対応した農法への移行と環境保全型農業の実施 ●大幅な減肥と多くの農家が有機栽培、減農薬減化学肥料栽培の取組を実施

【観光】 温泉や歴史・自然などの魅力ある観光資源は、島原半島地域全域に数多く分布し、雲仙温泉等の主要観光地では、多くの観光客が訪れるものの周遊性に乏しい。 【救急医療】 島原半島地域には第三次救急医療施設が無く、処置が困難な場合、大村市や諫早市の管外の病院に搬送しなければならないが、島原市と南島原市では、搬送時間が1時間以上を要する。